

第152回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年11月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,897 | -2.04 | -0.12 | 4,054 | -0.83 | -0.09 |
| 東部地区 | 14,335 | 0.11 | 0.00 | 5,618 | 1.09 | 0.05 |
| 西部地区 | 10,845 | 0.48 | -0.03 | 4,009 | 1.23 | 0.12 |
| 駅南地区 | 6,408 | -0.52 | 0.01 | 2,676 | 1.13 | 0.14 |
| 半田地区 | 3,609 | 1.40 | 0.38 | 1,336 | 2.84 | 0.37 |
| 横山地区 | 5,680 | -0.38 | 0.17 | 1,850 | -0.32 | 0.32 |
| 茨目・田尻地区 | 6,941 | 0.65 | -0.10 | 2,309 | 0.65 | 0.08 |
| 荒浜地区 | 5,197 | -0.95 | 0.05 | 2,010 | -0.34 | -0.09 |
| その他地区 | 21,263 | -1.66 | -0.15 | 7,177 | -0.18 | 0.00 |
| 西山町地区 | 6,408 | -1.85 | -0.03 | 2,141 | -0.46 | -0.18 |
| 高柳町地区 | 1,990 | -3.49 | -0.50 | 842 | -1.05 | -0.11 |
| 柏崎市計 | 92,573 | -0.75 | -0.04 | 34,022 | 0.33 | 0.04 |
| 刈羽村 | 4,955 | -0.44 | 0.08 | 1,541 | 1.58 | 0.12 |
| 小国地区（長岡市） | 6,546 | -1.20 | -0.21 | 2,161 | 0.32 | -0.09 |
| 出雲崎町 | 5,289 | -1.67 | 0.11 | 1,826 | -0.38 | 0.05 |
| 合計 | 109,363 | -0.81 | -0.04 | 39,550 | 0.34 | 0.03 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で704人、0.75％、刈羽村で22人、0.44％、小国地区（長岡市）で80人、1.20％、出雲崎町で90人、1.67％とそれぞれ減少し、全体では896人、0.81％の減少となった。

また、前月比においては、刈羽村で4人、0.08％、出雲崎町で6人、0.11％と増加したものの、柏崎市で41人、0.04％、小国地区で14人、0.21％と減少したことから、全体では45人、0.04％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で7世帯、0.38％と減少したが、柏崎市で113世帯、0.33％、刈羽村で24世帯、1.58％、小国地区で7世帯、0.32％と増加した結果、全体では137世帯、0.34％の増加となった。

また、前月比においても、小国地区で2世帯、0.09％と減少したものの、柏崎市で14世帯、0.04％、刈羽村で2世帯、0.12％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加したことから、全体では15世帯、0.03％と増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 921 | | -25.90 | | -7.90 | |
| 月間有効求職者 | 1,044 | | -0.57 | | -2.88 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.88 | 0.67 | -0.30* | -0.34* | -0.05* | -0.04* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が921人と前年同月比で322人、25.90％の大幅な減少、前月比でも79人、7.90％と減少している。

一方、月間有効求職者数も1,044人と前年同月比で6人、0.57％の減少、前月比でも31人、2.88％の減少となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.88倍と前年同月比で0.30ポイント下回り、前月比でも0.05ポイント下回ったものの、県平均0.67倍に対しては0.21ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が419人と前年同月比で112人、21.09％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は282人と前年同月比で36人、14.63％と増加した結果、月間新規求人倍率は1.49倍となり、前年同月の2.16倍に対しては0.67ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成20年11月の累計 | |
|-----------------|-----------|-------|-------|-------------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅 (併 用) | 51 | -52 | -26 | 702 | 347 |
| 共 同 住 宅 | 0 | -3 | 0 | 4 | -6 |
| 事 務 所 | 0 | -2 | -1 | 7 | 0 |
| 作 業 所 ・ 工 場 | 1 | -2 | -1 | 16 | -3 |
| 営 業 建 物 | 0 | -3 | -2 | 26 | 9 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| そ の 他 | 6 | -7 | -7 | 93 | 14 |
| 合 計 | 58 | -69 | -37 | 849 | 361 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が58件と前年同月比で69件の減少、前月比でも37件の減少となっている。工種別内訳での主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で52件、前月比で26件とともに大幅に減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が27件、増築が21件、改築が10件となっている。また、一般住宅（併用）51件における市内・市外施工業者別の確認申請については、市内施工業者が32件（うち新築13件、増築12件、改築7件）、市外施工業者が19件（うち新築11件、増築5件、改築3件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 66,028 | 0.97 | -0.28 | 19,005 | 3.47 | 12.22 |
| 電 力 | 11,446 | -3.02 | 0.86 | 40,704 | -10.37 | -10.72 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で638口、0.97%の増加となったものの、前月比では192口、0.28%と減少している。一方、電力では前年同月比で357口、3.02%と減少したが、前月比では98口、0.86%の増加となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で639千kwh、3.47%の増加、前月比でも2,070千kwh、12.22%と大幅に増加している。一方、電力においては前年同月比で4,711千kwh、10.37%の大幅な減少、前月比でも4,892千kwh、10.72%と大幅に減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|-------|-----------|---------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,084,525 | 1.69 | 39.06 | 709,389 | -0.84 | -0.53 |
| 営 業 用 | 185,464 | 3.28 | 20.27 | 125,471 | -3.19 | -1.84 |
| 工 場 用 | 640,855 | 35.10 | -3.38 | 133,735 | -5.73 | -13.50 |
| 官 公 学 校 用 | 370,912 | 4.03 | 82.98 | 78,341 | -6.44 | -6.15 |
| そ の 他 | | | | 128 | -117.53 | -46.88 |
| 合 計 | 2,281,756 | 9.86 | 26.76 | 1,047,064 | -2.13 | -2.99 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で204,903m³、9.86%の増加、前月比でも481,727m³、26.76%と大幅に増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で増加しており、前月比では工場用を除く全ての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で22,874m³、2.13%の減少、前月比でも32,275m³、2.99%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比ともに全ての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 94,504 | 8.33 | -9.22 | 99,160 | 9.88 | -8.45 |
| 西 山 | 66,154 | 23.81 | -6.16 | 60,105 | 23.80 | -9.52 |
| 米 山 | 28,161 | 17.74 | -9.77 | 27,785 | 23.55 | -1.98 |
| 合 計 | 188,819 | 14.72 | -8.26 | 187,050 | 15.98 | -7.90 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口においては全体で前年同月比が24,239台、14.72%の大幅な増加となったものの、前月比では17,001台、8.26%と減少している。

一方、出口においても全体では前年同月比で25,777台、15.98%と大幅に増加したが、前月比では16,056台、7.90%の減少となっている。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの入口・出口において前年同月比で増加しているが、前月比では減少となった。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 349,903 | 2.27 | 0.50 | 149,110 | 2.70 | -0.40 |
| 平 残 | 347,707 | 2.34 | 0.48 | 147,258 | 3.57 | 0.43 |

預金は、末残が前年同月比で7,786百万円、2.27%の増加、前月比でも1,760百万円、0.50%の増加となり、平残においても前年同月比で7,959百万円、2.34%の増加、前月比でも1,689百万円、0.48%と増加し、末残・平残ともに堅調な推移を示している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で3,932百万円、2.70%と増加したものの、前月比では603百万円、0.40%と減少している。また、平残においては、前年同月比で5,088百万円、3.57%の増加、前月比でも634百万円、0.43%の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|-------|--------|--------|
| 交 換 枚 数 | 4,488 | -15.36 | -14.18 |
| 交 換 金 額 | 3,754 | -12.68 | -37.96 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 8 | 0.00 | 33.33 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 3 | 0.00 | -2.64 |

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が当月末日の休日要因から前年同月比で815枚、15.36%と大幅に減少、前月比でも742枚、14.18%と大幅に減少している。また、交換金額においても前年同月比で545百万円、12.68%の大幅な減少、前月比でも2,298百万円、37.96%と大幅に減少した。なお、不渡手形は8枚、3百万円が発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産7件（前年同月2件、前月7件）、負債総額23億円（同39億円、同14億円）、1件当たりの負債額3億円（同19億円、同2億円）となった。地区別では下越地区で4件（新潟市3件、新発田市1件）、中越地区で2件（三条市2件）、上越地区で1件（上越市1件）発生している。業種別は建設業2件、製造業2件、販売業1件、サービス業1件、運送業1件となっており、倒産原因別については、発生した7件全てが販売不振となっている。

当月の企業倒産は7件、負債総額で23億円と前年同月比では件数で5件増加したが、負債総額では16億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内における今年の倒産件数は平成20年11月までで64件と、昨年年間合計の59件を上回っている。今後も外需の低迷や円高などの影響から減産や設備投資の減退が進むことが予想されるほか、個人消費の減速も懸念されるなど、当面、経済環境は厳しい状況が続くものと思われる。